

文部科学省 特色ある共同研究拠点の整備の推進事業



慶應義塾大学パネル調査共同研究拠点

活動報告 Activity Report No.5

慶應義塾大学産業研究所共催

パネルデータ解析セミナー

【対象】 学部生・修士・博士課程在籍者・修了者、
シンクタンク等研究機関研究員

【日時】

a. 【パネルデータ解析セミナー：準備講座】

平成22年9月13日（月）13:00～18:00

b. 【パネルデータ解析セミナー】

平成22年9月14日（火）～17日（金）13:00～18:00

【場所】 慶應義塾大学三田キャンパス大学院棟331教室

【プログラム】

a. 【準備講座】

(1) Stataによる回帰分析

- (a) データの読み込み (use, insheetコマンド)
- (b) データの確認 (browse, describe)
- (c) 変数の構築 (generate, replace, drop)
- (d) 基本的な統計量の確認 (summarize, tabulate)
- (e) doファイルの使い方
- (f) 回帰分析の考え方
- (g) 回帰分析の実行と結果の解釈 (regress)

b. 【本講座】

(1) Stataの利用方法 (準備講座の復習)

(2) パネルデータの構築

- (a) 異なるデータセットの接続 (merge, appendコマンド)
- (b) 繰返しによる処理 (foreach, while)
- (c) マクロ (local, global)

(3) クロスセクション分析

- (a) 質的従属変数モデル (probit, logit, clogit)
- (b) サンプル・セレクションモデル (heckman)

(4) パネルデータ分析

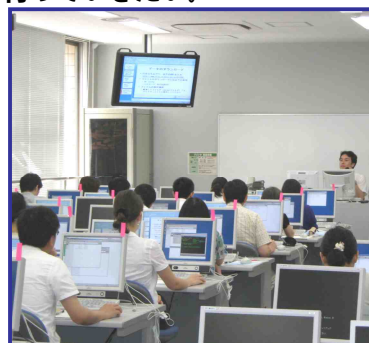
- (a) 固定効果・変量効果モデル (xtreg)
- (b) 差分の差分推定
- (c) イベント・ヒストリー分析 (ハザード分析・サバイバル分析)

2010年9月13日から17日の5日間において、パネルデータ解析セミナーが行われた。本セミナーでは、統計パッケージStataを使ったパネルデータの基礎的なハンドリングの方法と分析方法について、受講者による演習を交えながら講義を進めていった。

今回で3回目となる本セミナーは、前回同様、慶應義塾大学産業研究所との共催で行われ、9月14日からの本講座に先立ち、1日間の準備講座では、回帰分析の基礎と統計パッケージStataの基本的な利用方法について解説した。本講座では、実際のパネルデータ（慶應義塾大学家計パネル調査：KHPS）を用い、データセットの構築から、基礎的なパネルデータの分析手法について学んだ。

前回に引き続き、今回のセミナーも定員（60名）を超える申し込みをいただいた。受講者は、官公庁や民間シンクタンクの職員から、大学教員、大学・大学院生と、様々な分野から参加があり、あらゆる面で統計解析やパネルデータへの関心の高さがうかがえた。前回同様、準備講座・本講座ともに連日13:00から18:00の長丁場であったが、参加者の方々は熱心に受講され、盛況に幕を閉じた。

終了後に参加者にご協力いただいたアンケート回答を反映させ、今後より一層充実した活動を行っていきたい。



↑ 使用したテキスト

← セミナーの様子